

教育委員会の権限に属する事務の管理及び  
執行の状況に係る点検及び評価に関する報告書  
(平成30年度事業対象)

令和2年1月

白井市教育委員会

## はじめに

白井市教育委員会では、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条第1項の規定に基づき、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を実施し、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しています。

この報告書は、市教育委員会が平成30年度に実施した事務事業の取り組みについて、点検し評価を行い、事務事業の改善・見直しを進めながら効率的・効果的な教育施策の推進に資するため、とりまとめたものです。

なお、本市では、市の教育に関する総合的な施策について、その目標や施策の根本となる方針を定めた「白井市教育大綱」を平成28年5月に策定するとともに、平成28年度を初年度とした白井市第5次総合計画（基本構想、前期基本計画）及び前期実施計画がスタートしていることから、今回の点検及び評価にあたっては、この教育大綱及び第5次総合計画等を踏まえた視点などを加味しながら行っています。

### <参 考>

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## 目 次

第1章	教育大綱	1
第2章	点検及び評価方法	2
1	点検及び評価の対象	2
2	点検及び評価の実施体制	2
3	点検及び評価の観点	2
	(参考) 白井市第5次総合計画 前期実施計画 事業一覧	3
	教育委員会点検・評価対象事業(平成30年度事業)一覧	10
第3章	点検及び評価結果	11
1	教育の情報化推進事業	11
2	特別支援教育事業	12
3	学校給食共同調理場建替事業	13
4	立春式事業	14
5	文化財調査事業	15
6	文化財保護・周知事業	16
7	市民学芸スタッフ古文書修補活動事業	17
8	郷土資料館展示・教育普及事業	18
	(参考資料)	
	教育委員会の活動状況	19
	(参考資料)	
	平成30年度事業 教育委員会点検及び評価資料 (事務事業評価シート 重点戦略事業・分野別事業)	23

## 第1章 教育大綱

### 【教育方針】

安全で安心して学べる教育環境の整備・充実を図り、子どもの確かな学力と豊かな心と体を育む「生きる力」を育てる教育を推進します。

また、市民が元気に活躍できるように、生涯にわたる学習活動やスポーツ活動、文化・芸術活動を支援します。

### 【基本目標】

#### 1 学校教育の充実

子どもの確かな学力と豊かな心と体を育むとともに、地域に根ざした教育を推進します。

また、子どもが安全で安心して学べるよう教育環境を整備します。

#### 2 生涯学習の充実

さまざまな年代にわたる市民の多様なニーズに応え、生涯にわたる学習機会の充実を図るとともに、学習した成果を市民生活や市民活動などに生かせるしくみづくりを進めます。

また、学習活動をしている市民が活動しやすい環境づくりを目指します。

#### 3 スポーツの振興

より多くの市民に、安心・安全にスポーツに親しめる機会を提供するとともに、子どもから高齢者まで誰もが生涯を通してスポーツに親しみ、健康づくりや地域での交流が図れる環境づくりを目指します。

#### 4 文化芸術活動の支援

市民による文化活動を支援し、多様な文化・芸術に親しめる機会を提供します。

また、郷土の歴史や文化遺産の調査・保存を推進するとともに、市民と協働しながら文化財の保護活動を行います。

## 第2章 点検及び評価方法

### 1 点検及び評価の対象

点検及び評価については、第5次総合計画・前期基本計画・前期実施計画における主要事業である重点戦略事業及び分野別計画事業を対象に行っています。

なお、当市教育委員会における重点戦略事業については、関連事業を含め8事業、分野別事業については、28事業、併せて36事業が点検評価の対象事業になります。

### 2 点検及び評価の実施体制

実施対象事業については、毎年、予め重点戦略事業及び分野別事業の中から任意に選定し、すべての事業を平成32年度までの前期実施計画の計画期間内において、順次行っていくこととしています。

点検及び評価については、事前に担当課等が自己評価した事務事業評価シートをもとに、教育長及び教育委員4人に学識経験者3人を加えた「白井市教育委員協議会」において実施します。

### 3 点検及び評価の観点

必要性、有効性及び効率性の観点から点検及び評価を行った上で、事業の課題などを抽出し、改善により期待される効果等について検討します。

(参考) 白井市第5次総合計画 前期実施計画 事業一覧

○重点戦略事業（教育委員会所管事業を網掛けしています）

戦略	戦略の柱	目標実現に向けた取組	事業名	
戦略1 若い世代定住プロジェクト	1-1 ゆとりある暮らしを支えるまちづくり	(1) 若い世代が魅力を感じるゆとりある住環境整備の促進	ゆとりある住環境整備事業 近居推進事業（※）	
		(2) 子ども連れで外出しやすい道路や公園・広場などの機能整備	公園施設環境整備事業 道路環境整備事業	
		(3) みどりや文化資源などを活用した魅力ある暮らしの促進	みどりと歴史文化の魅力づくり事業	
	1-2 働く場を生み出すまちづくり	(1) 工業団地などにおける市民の雇用拡大	白井工業団地PR事業（※） 雇用・労働支援事業（※）	
		(2) 異業種・異分野間のネットワークづくりによる交流・連携の支援	異業種・異分野間交流・連携事業	
		(3) 未利用地や幹線道路沿道等における開発誘導	幹線道路沿道活性化事業	
		(4) 起業希望者に対する支援のしくみづくりや起業を意識した学習機会の提供	創業支援事業（※） 起業学習・体験事業	
	1-3 子育てしたくなるまちづくり	(1) 利便性の高い場所での保育機会の確保	待機児童対策事業（※） 病児・病後児保育事業	
		(2) 子育てに係る経済的負担の軽減	子ども医療費助成事業	
		(3) 地域での親や子どもたちの居場所づくりや子育て支援のしくみづくり	子育てスタート応援事業（※） 子育てカフェ事業（※） 放課後子ども教室事業（※）	
			(4) 児童・生徒の個性に応じた学力の向上など生きる力を育む教育の推進	補助教員配置事業（※） 地域人材活用事業（※） ドリームチャレンジャー事業（※） 子どもしごとフェス事業（※）
戦略2 みどり活用プロジェクト		2-1 「魅せる農」のまちづくり	(1) 多様な形態の農業経営と担い手の支援	集落営農の組織化等支援事業 育苗センター事業（※） 市民農業大学事業（※） 援農ボランティア育成・活用事業（※）
	(2) 農商工の連携による、農産物の高付加価値化やブランド化			農産物ブランド化推進事業（※） 農産物販売拠点機能強化事業（※） 農産物流通拡大事業（※）
				(3) 駅周辺や地域における農産物の販売の場づくり
	(4) だれもが農業体験できるプログラムの実施や農に親しめる環境づくり			
	2-2 みどりが価値を生み出すまちづくり	(1) 地域での環境保全や創出の取り組みとしてのグラウンドワークの推進	森のグラウンドワーク推進事業 環境学習推進事業	
			(2) 白井の自然環境の豊かさを知り育むための環境学習の推進	
	2-3 みどりがつながるまちづくり	(1) 自然とのふれあいや癒しの場としての里山の保全と活用	(仮称) 谷田・清戸市民の森整備事業	
			(2) 市民によるみどりのネットワークづくりに対する支援	沿道みどりの推進事業

戦略	戦略の柱	目標実現に向けた取組	事業名
戦略3 拠点創造プロジェクト	3-1 都市拠点がにぎわうまちづくり	(1) 市役所・白井駅周辺や西白井駅周辺などでの地域特性に合わせたにぎわいづくり	中心都市拠点・生活拠点づくり事業
			マルシェにぎわいづくり支援・協働事業
			フェスティバル開催事業(※)
		(2) 工業団地への産業機能の集積に向けた環境整備	工業団地アクセス道路整備事業
	工業専用地域振興事業		
	3-2 地域拠点がにぎわうまちづくり	(1) 小学校区を基本的な単位としたまちづくり協議会の設立の推進	まちづくり協議会設立支援事業(※)
			地域防災力向上事業(※)
		(2) 市内の様々な場における世代に関係なく利用できる居場所や交流の場づくり	西白井地区コミュニティ施設整備事業
			地域生活支援拠点等整備事業
			小さな交流の場づくり事業
		(3) 地域の人が地域の人のために身近な生活サービスを提供する地域拠点づくり	集いの場づくり支援事業
			生活支援サービス体制整備事業(※)
			総合型地域スポーツクラブ支援事業
	(4) 地域の人や団体を活かした生きがいづくりや健康づくりの場の充実	白井市民大学校事業	
		地域健康づくり事業(※)	
介護予防自主グループ支援事業			
3-3 拠点がつながるまちづくり	(1) コーディネーターの発掘・育成	市民参加・協働の人づくり事業(※)	
	(2) 都市拠点と各地域を結ぶ道路ネットワークの整備	道路ネットワークづくり事業	
		市道新設改良事業	
	(3) 利便性の良い交通ネットワークの確保	鉄道交通推進事業	
バス交通推進事業			

○分野別事業（教育委員会所管事業を網掛けしています）

分野 【基幹計画】	小分野 【個別計画】	事業名
<p style="text-align: center;"><b>A</b></p> <p style="text-align: center;"><b>健康・福祉</b></p> <p>【基幹計画】 白井市第2次 地域福祉計画  (策定予定)</p>	<p><b>1 障がい者福祉</b></p> <p>【個別計画】 ・白井市障害者計画、白井市第4期障害福祉計画</p>	<p>障がい福祉サービス事業</p> <p>障がい者相談支援事業</p> <p>障がい者雇用・就労支援事業</p> <p>障がい者スポーツ大会等参加促進事業</p> <p>★地域生活支援拠点等整備事業</p>
	<p><b>2 高齢者福祉</b></p> <p>【個別計画】 ・白井市第6期高齢者福祉計画・介護保険事業計画 ・白井市まち・ひと・しごと創生総合戦略（※）</p>	<p>高齢者就労等マッチング事業（※）</p> <p>高齢者在宅福祉事業</p> <p>介護予防普及啓発事業</p> <p>介護支援ボランティア事業</p> <p>地域包括支援センター運営事業</p> <p>★集いの場づくり支援事業</p> <p>★生活支援サービス体制整備事業（※）</p> <p>★介護予防自主グループ支援事業</p>
	<p><b>3 子育て支援</b></p> <p>【個別計画】 ・しろい子どもプラン（白井市子ども・子育て支援事業計画） ・白井市まち・ひと・しごと創生総合戦略（※）</p>	<p>ママヘルパー派遣事業</p> <p>子育て支援事業等利用助成事業</p> <p>ひとり親家庭支援事業</p> <p>こども発達センター事業</p> <p>地域子育て支援拠点事業</p> <p>私立保育園等補助事業</p> <p>一時保育事業</p> <p>家庭的保育事業</p> <p>私立幼稚園振興事業</p> <p>保育園食育推進事業</p> <p>★待機児童対策事業（※）</p> <p>★病児・病後児保育事業</p> <p>★子ども医療費助成事業</p> <p>★子育てスタート応援事業（※）</p> <p>★子育てカフェ事業（※）</p> <p>★放課後子ども教室事業（※）</p>

分野 【基幹計画】	小分野 【個別計画】	事業名
<b>A</b> <b>健康・福祉</b>  【基幹計画】 白井市第2次 地域福祉計画  (策定予定)	<b>4 福祉相談・支援</b>  【個別計画】 ・白井市障害者計画、白井市第4期障害福祉計画 ・白井市第6期高齢者福祉計画・介護保険事業計画 ・しろい子どもプラン（白井市子ども・子育て支援事業計画） ・第2次しろい健康プラン ・白井市男女平等推進行動計画	家庭児童相談事業 保健福祉相談事業 虐待防止対策事業 こころの相談事業 生活困窮者自立支援事業 外国人支援事業 DV防止対策事業
	<b>5 健康づくり</b>  【個別計画】 ・第2次しろい健康プラン ・第2期白井市国民健康保険特定健康診査等実施計画 ・白井市まち・ひと・しごと創生総合戦略（※）	健康生活支援事業 健康づくり普及推進事業 歯科口腔保健推進事業 食からの健康づくり支援事業 母子保健推進事業 健（検）診事業 特定健康診査事業 特定保健指導事業 人間ドック等受検費用助成事業 ★地域健康づくり事業（※）
<b>B</b> <b>学習・教育</b>  【基幹計画】 白井市教育大綱  (策定予定)	<b>1 学校教育</b>  【個別計画】 ・白井市まち・ひと・しごと創生総合戦略（※）	教育資金利子補給事業 A L T 配置事業 教育相談事業 適応指導教室事業 青少年国際交流事業 教育課題調査研究事業 教育の情報化推進事業 特別支援教育事業 学校安全対策事業 学校給食共同調理場建替事業 小中学生の栄養指導事業 ★補助教員配置事業（※） ★地域人材活用事業（※）

分野 【基幹計画】	小分野 【個別計画】	事業名
<p style="text-align: center;"><b>B</b></p> <p style="text-align: center;"><b>学 習 ・ 教 育</b></p> <p>【基幹計画】 白井市教育大綱  (策定予定)</p>	<p><b>2 生涯学習</b></p> <p>【個別計画】 ・白井市まち・ひと・しごと創生総合戦略（※）</p>	<p>各種スポーツ大会開催事業</p> <p>立春式事業</p> <p>青少年野外活動事業</p> <p>子どもワンパク大会事業</p> <p>家庭教育事業</p> <p>国際理解推進事業</p> <p>図書館サービス推進事業</p> <p>図書館資料整備事業</p> <p>プラネタリウム館運営事業</p> <p>★ドリームチャレンジャー事業（※）</p> <p>★子どもしごとフェス事業（※）</p> <p>★総合型地域スポーツクラブ支援事業</p> <p>★白井市民大学校事業</p>
	<p><b>3 文化・芸術</b></p>	<p>市史編さん事業</p> <p>文化財調査事業</p> <p>文化財保護・周知事業</p> <p>埋蔵文化財・文化財記録・保護事業</p> <p>市民学芸スタッフ古文書修補活動事業</p> <p>郷土資料館展示・教育普及事業</p> <p>文化を支える人材育成支援事業</p> <p>市民文化祭開催事業</p> <p>文化会館自主事業運営事業</p>

分野 【基幹計画】	小分野 【個別計画】	事業名
<p style="text-align: center;"><b>C</b></p> <p style="text-align: center;">産業・雇用</p> <p>【基幹計画】 白井市 産業振興計画  (策定予定)</p>	<p><b>1 農業振興</b></p> <p>【個別計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・白井市農業振興地域整備計画</li> <li>・農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想</li> <li>・白井市地域水田農業ビジョン</li> <li>・白井市森林整備計画</li> <li>・白井市鳥獣被害防止計画</li> <li>・白井市まち・ひと・しごと創生総合戦略(※)</li> </ul>	<p>農業・農村交流事業</p> <p>農業生産技術・経営改善支援事業</p> <p>遊休農地解消事業</p> <p>★集落営農の組織化等支援事業</p> <p>★育苗センター事業(※)</p> <p>★市民農業大学事業(※)</p> <p>★援農ボランティア育成・活用事業(※)</p> <p>★農産物ブランド化推進事業(※)</p> <p>★農産物販売拠点機能強化事業(※)</p> <p>★農産物流通拡大事業(※)</p> <p>★市民農園・体験型農園開設支援事業(※)</p>
	<p><b>2 商工業振興・雇用</b></p> <p>【個別計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・白井市まち・ひと・しごと創生総合戦略(※)</li> </ul>	<p>中小企業活性化支援事業</p> <p>企業誘致推進事業</p> <p>ふるさとまつり支援事業</p> <p>消費生活相談・啓発推進事業</p> <p>★白井工業団地PR事業(※)</p> <p>★雇用・労働支援事業(※)</p> <p>★異業種・異分野間交流・連携事業</p> <p>★幹線道路沿道活性化事業</p> <p>★創業支援事業(※)</p> <p>★起業学習・体験事業</p> <p>★マルシェにぎわいづくり支援・協働事業</p> <p>★フェスティバル開催事業(※)</p> <p>★工業団地アクセス道路整備事業</p> <p>★工業専用地域振興事業</p>
<p style="text-align: center;"><b>D</b></p> <p style="text-align: center;">環境・自然</p> <p>【基幹計画】 白井市第2次 環境基本計画</p>	<p><b>1 生活環境保全</b></p> <p>【個別計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみ減量化・資源化基本方針</li> <li>・白井市バイオマスタウン構想</li> <li>・白井市生活排水処理基本計画</li> <li>・白井市地球温暖化対策実行計画</li> </ul>	<p>ごみの減量化・資源化推進事業</p> <p>省資源・省エネルギー推進事業</p> <p>不法投棄防止対策事業</p> <p>水質調査・地下水汚染対策事業</p> <p>合併処理浄化槽等設置促進事業</p> <p>アスベスト分析調査・除去工事補助事業</p>
	<p><b>2 自然環境保全・創出</b></p>	<p>★みどりと歴史文化の魅力づくり事業</p> <p>★森のグラウンドワーク推進事業</p> <p>★環境学習推進事業</p> <p>★(仮称)谷田・清戸市民の森整備事業</p> <p>★沿道みどりの推進事業</p>

分野 【基幹計画】	小分野 【個別計画】	事業名	
<b>E</b>  <b>地域・安心</b>  【基幹計画】 白井市コミュニティ基本計画  （策定予定）	<b>1 地域のまちづくり</b>  【個別計画】 ・市民参加・協働のまちづくりプラン ・白井市まち・ひと・しごと創生総合戦略（※）	市民活動推進センター運営事業 市民団体活動支援補助事業 ★まちづくり協議会設立支援事業（※） ★市民参加・協働の人づくり事業（※）	
	<b>2 災害対策</b>  【個別計画】 ・白井市地域防災計画、災害時要援護者避難支援プラン全体計画 ・白井市国民保護計画 ・白井市耐震改修促進計画 ・白井市まち・ひと・しごと創生総合戦略（※）	消防団体制強化事業 庁舎整備事業 庁舎整備に伴うネットワークの構築事業 建築物耐震化支援事業 ★地域防災力向上事業（※）	
	<b>3 防犯・交通安全</b>	防犯対策事業 交通安全対策事業 放置自転車対策事業	
	<b>F</b>  <b>都市・交通</b>  【基幹計画】 白井市都市マスタープラン	<b>1 住環境</b>  【個別計画】 ・白井市緑の基本計画（策定予定） ・白井市まち・ひと・しごと創生総合戦略（※）	都市公園等整備事業 住み替え支援事業（※） 住宅リフォーム助成事業 マンション対策支援事業 ★ゆとりある住環境整備事業 ★近居推進事業（※） ★公園施設環境整備事業 ★中心都市拠点・生活拠点づくり事業 ★西白井地区コミュニティ施設整備事業 ★小さな交流の場づくり事業
		<b>2 生活基盤</b>  【個別計画】 ・白井市道路整備基本計画 ・白井市污水適正処理構想 ・白井市水道事業第1次拡張2次変更建設計画 ・白井市下水道事業第3次中期経営計画 ・白井市水道事業第3次中期経営計画	配水施設整備事業 污水排水施設整備事業 雨水排水施設整備事業 水路等維持改修事業 ★道路環境整備事業 ★道路ネットワークづくり事業 ★市道新設改良事業
		<b>3 公共交通</b>	★鉄道交通推進事業 ★バス交通推進事業

教育委員会点検・評価対象事業（平成31年度事業）一覧

【白井市第5次総合計画前期基本計画・前期実施計画事業による】

区分	No.	事業名	事業コード	担当課名	点検評価の時期
重点戦略事業	1	みどりと歴史文化の魅力づくり事業	1-1-3-01	環境課 文化課	
	2	放課後子ども教室事業	1-3-3-03	生涯学習課	H29済
	3	補助教員配置事業	1-3-4-01	学校政策課	H29済
	4	地域人材活用事業	1-3-4-02	学校政策課	H29済
	5	子どもごとフェス事業	1-3-4-04	生涯学習課	H29済
	6	環境学習推進事業	2-2-2-01	環境課 教育支援課	
	7	総合型地域スポーツクラブ支援事業	3-2-4-01	生涯学習課	H30済
	8	白井市民大学校事業	3-2-4-02	生涯学習課	H30済

区分	No.	事業名	事業コード	担当課名	点検評価の時期
分野別計画事業（重点戦略以外の実計画事業）	1	教育資金利子補給事業	B-1-01	教育総務課	H29済
	2	A L T 配置事業	B-1-02	教育支援課	H29済
	3	教育相談事業	B-1-03	教育支援課	H29済
	4	適応指導教室事業	B-1-04	教育支援課	H30済
	5	青少年国際交流事業	B-1-05	教育支援課	H30済
	6	教育課題調査研究事業	B-1-06	教育支援課	H30済
	7	教育の情報化推進事業	B-1-07	学校政策課	H31
	8	特別支援教育事業	B-1-08	教育支援課	H31
	9	学校安全対策事業	B-1-09	教育支援課	
	10	学校給食共同調理場建替事業	B-1-10	教育総務課	H31
	11	小中学生の栄養指導事業	B-1-11	教育支援課	
	12	各種スポーツ大会開催事業	B-2-01	生涯学習課	H29済
	13	立春式事業	B-2-02	生涯学習課	H31
	14	青少年野外活動事業 ※	B-2-03	生涯学習課	※休止中
	15	子どもワンパク大会事業 ※	B-2-04	生涯学習課	※休止中
	16	家庭教育事業	B-2-05	生涯学習課	
	17	図書館サービス推進事業	B-2-07	文化センター	H29済
	18	図書館資料整備事業	B-2-08	文化センター	H30済
	19	プラネタリウム館運営事業	B-2-09	文化センター	H30済
	20	市史編さん事業	B-3-01	生涯学習課	H29済
	21	文化財調査事業	B-3-02	生涯学習課	H31
	22	文化財保護・周知事業	B-3-03	生涯学習課	H31
	23	埋蔵文化財・文化財記録・保護事業	B-3-04	生涯学習課	
	24	市民学芸スタッフ古文書修補活動事業	B-3-05	文化センター	H31
	25	郷土資料館展示・教育普及事業	B-3-06	文化センター	H31
	26	文化を支える人材育成支援事業	B-3-07	生涯学習課	
	27	市民文化祭開催事業	B-3-08	生涯学習課	
	28	文化会館自主事業運営事業	B-3-09	文化センター	

### 第3章 点検及び評価結果

#### 1 教育の情報化推進事業（分野別計画事業 No.7）

##### （1）事業概要

教育の情報化を推進し、全学校全教室におけるネットワーク回線を安全に使用できるよう維持するとともに、校務支援システムを活用した教職員の事務効率向上を図るため、パソコン等の情報機器の整備と IT コーディネーターを雇用する。

##### （2）主な意見

- ・教職員の負担が増えないよう、ICT 支援員の充実が必要である。
- ・できるだけ早く機器を整え、ICT 教育を推進するように努力するべきである。
- ・学校支援を向上させていく上でも、学校教育への理解を深めるためにも、ICT 支援員を市民から募集することが有効ではと考える。

##### （3）課題及び見直し

- ・設備面の充実と共に、ICT 支援員の更なる拡充などソフト面での充実も課題である。

##### （4）評価及び改善提案

- ・環境整備と共に、現場での活用方法を具体的な形で示すようにしていただきたい。
- ・資料の「すすむ千葉県」や「わたしたちの白井市」だけでは知り得ない深い学習ができることを期待する。
- ・タブレット導入等、計画通り学校現場の環境整備等を着実に進めていただきたい。

## 2 特別支援教育事業（分野別計画事業 No.8）

### （1）事業概要

特別支援教育における就学相談及び個別支援の充実を図るため、教育支援委員会の開催や個別支援学級への必要な介助員の配置、専門性の高い巡回指導員による学校を訪問した指導・助言などを行う。

### （2）主な意見

- ・県を通じて、国に対し特別支援教育推進のための予算措置の働きかけはできないものかと考える。
- ・各学校に最低一人は特別支援教育の免許を持つ教員が配置されることを望む。
- ・インクルーシブ教育システム構築のために環境を整えていくべきである。
- ・校内における発達障がいに関する理解・知識を深めるための定期的な勉強会等が実施されることを望む。
- ・教員毎にサポートが違うという声を聞くため、定期的な勉強会や情報共有の徹底を望む。
- ・あらゆるケースに応じたサポートシステムが行政には完備されていないと感じるため、早急な対応を願う。
- ・「ふるさとまつり」に出店する中で市民のあたたかい理解を感じる。

### （3）課題及び見直し

- ・介助員配置のための十分な予算措置が課題である。

### （4）評価及び改善提案

- ・特別な支援を要する子どもが増えているので、担任や介助員だけではできないこと、できないことがある。保護者と学校で多くを共有できるようよく話し合うことが大切である。特に親の望みは何か。そのためにどう取り組んでいったら良いのかを考える必要がある。
- ・学校によって児童生徒への支援や対応に差がないように取り組んでいただきたい。

### 3 学校給食共同調理場建替事業(分野別計画事業 No.10)

#### (1) 事業概要

おいしくて安全・安心な給食を継続的に提供するため、老朽化した旧学校給食共同調理場を民間の資金とノウハウを活用できるPFI方式により施設を整備し、併せて15年間の調理などを委託する。

#### (2) 主な意見

- ・安全、安心、おいしさの先端を行く「なし坊キッチン」の良さを保つために、設備の万全の点検を怠らないよう常に注意してほしい。
- ・見学、研修施設をこれからの食育、総合学習等に有効に活用してほしい。
- ・桜台小中学校の調理施設の老朽化を鑑み、今後も安定した給食の提供のため、学校給食センターの最新の設備で作られる安全・安心な給食をぜひ桜台小中学校の子どもたちにも食べてほしい。

#### (3) 課題及び見直し

- ・特になし。

#### (4) 評価及び改善提案

- ・安全で質の高い給食を提供し、またアレルギー対応食も取り入れるなど大変評価している。

## 4 立春式事業（分野別計画事業 No.13）

### （1）事業概要

社会の一員としての自覚や将来に対する夢を育むため、市内の中学2年生を対象として、各種体験事業（職業、野外活動、ボランティア活動）や式典を行う。また、これらの事業を支援するため、白井市立春式実行委員会に補助金を交付する。

### （2）主な意見

- ・社会の一員としての自覚を育むことは、現代社会においては重要、将来の社会においても重要であると考え。中学校段階において意図的に場を設定することが、思春期の子どもたちにとっては適切な刺激になるものと思われる。行政においては、今後も各学校が主体的に全生徒（2年生）を対象として実施できる環境づくりに努めていただきたい。
- ・自主運営の方向をさらに進めてほしいと考える。

### （3）課題及び見直し

- ・記念式典は学校の負担が大きいと思われるため、式典の形式にとらわれずに、職業体験や体験報告など生徒主体の取組に注力してほしい。
- ・補助金の話が出ているが、立春式のあり方を体験の発表とし、講演会（外部の方を呼ぶ）などを無くすなどとすれば良いのではと考える。また子どもたちがやってみたいと思う体験が多様化しているため、広報などで各事業所に広め、受け入れ先を拡大確保できたら良いと考える。
- ・学校内予算への移行は、各中学校が本事業の意義を主体的にとらえて実践しているか、あるいは実践していくかが課題である。

### （4）評価及び改善提案

- ・他市には無い、白井の伝統行事として今後も末永く続くことを願っている。教員や生徒、事業主の負担にならないように、恒例ではあっても都度見直しをしていただきたい。
- ・大人の仲間入り、社会人としての自覚を持てるすばらしい事業。

## 5 文化財調査事業（分野別計画事業 No.21）

### （1）事業概要

白井市の歴史を物語るような重要な文化財を見出し、「白井らしさ」を高めるため、市内の各種文化財調査を実施し、調査毎に報告書等を刊行する。

### （2）主な意見

- ・「歴史のしずく」の増刷を行ったとあるが、ホームページに載せてパソコンで見られるようにしたら、更に広められるのではないかと考える。
- ・情報化推進事業と連携して、学校でも活用できたら良い。

### （3）課題及び見直し

- ・歴史のしずくや、文化財の子ども向けリーフレットなど、とても良くできているが、市民の関心が薄いのが残念に感じる。これからの時代は紙よりデータの方が低コストで目に触れやすいので「動画」での提供を検討する必要がある。
- ・「文化財ガイド」の完成時期を決めて長期計画を立てるべきである。

### （4）評価及び改善提案

- ・平成 30 年度は古文書調査報告書を 2 冊刊行するなど成果は上がっていると考えられるが、調査時間がかかりすぎていることや滅失の危険等を考えると、改善して継続することが望ましい。

## 6 文化財保護・周知事業（分野別計画事業 No.22）

### （1）事業概要

白井市の歴史上重要である指定文化財は「白井らしさ」を象徴する要素の一つであることから、「白井らしさ」を高めるため、看板・標柱の設置や「なし坊の文化財解説シート」をはじめとする各種広報資料の刊行、各種講演会開催などにより、広報・周知をする。また、文化財の良好な保存と活用を図るため、指定文化財所有者へ保存・管理・修理・公開に対して補助金を交付する。

### （2）主な意見

- ・講座の参加増から大きな成果を感じる。
- ・有能な学識のある市民を見出し、活用や協力要請していかないと、時間がかかるばかりで、そのうちに保護すべきものが失われてしまうことが心配である。
- ・市内小中学校の社会科関連授業との連携を強めてほしい。
- ・白井市の文化財を子どもたちがどれだけ知っているか。興味・関心を持っているか。ホームページで広めることや、出前授業で関心も高まると思う。
- ・若い世代も巻き込んだ周知をさらに図ってほしい。

### （3）課題及び見直し

- ・市民参加が言われている昨今なので、市民へのPRについては大胆な発想が必要である。
- ・周知については、文化財の魅力を一般市民目線からのPRが課題である。

### （4）評価及び改善提案

- ・専門的な分野であるので時間がかかるのはわかるが、市民に身近であることが望ましいと思う。市民へのPRにも力を入れて、興味を持たせながら進めていただきたい。

## 7 市民学芸スタッフ古文書修補活動事業（分野別計画事業 No.24）

### （1）事業概要

市の歴史を伝える文化財の一つである古文書を良好な状態で後世まで守り伝えていくため、市民と協働で修補作業を実施するとともに、修補技能者の育成と修補技能の継承、研修者の受け入れを行う。

### （2）主な意見

- ・子どもたちにも周知するのなら、学校のパソコンや出前授業で、学芸スタッフから教えてもらえると良いと考える。
- ・専門的かつ地道な活動なので、担い手の確保または育成が重要である。

### （3）課題及び見直し

- ・状態が様々ではあるが、年間目標枚数を設定することが必要ではと考える。

### （4）評価及び改善提案

- ・修補活動の大切さ、熱心に取り組んでいる様子をもっとPRする工夫が必要である。

## 8 郷土資料館展示・教育普及事業（分野別計画事業 No.25）

### （1）事業概要

市民が市や地域へ愛着を持てるようになるため、常設展示及び企画展示、郷土の歴史・文化財に関する講座、主に子どもを対象とした体験教室、小学校授業での郷土資料館活用（展示解説・出前授業等）を行う。

### （2）主な意見

・プラネタリウムとの連携で企画すると良いのでは。企画内容が地味でパターン化しているような気がする。予算を取ってもう少し見栄えのよい内容の講座だと人気ができるのではないかと考える。

### （3）課題及び見直し

- ・資料館の活用はいいが、学校への働きかけが弱いと考える。
- ・学校への出前授業を積極的に実施してほしい。各校から要請しやすいような体制作りと広報をお願いしたい。公開授業などに用いてもらおうと保護者にも聞いてもらえるのではないかと考える。
- ・小学校 3 年生あたりをターゲットにして、学校で活用できそうなプログラムを作成（市の歴史を教材化）し、提供することはできないか。もし、副読本「わたしたちの白井市」に指導者用の付録として配布されると、子どもたちへの啓発のチャンスが大きく広がるものと思われる。
- ・絶対必要なことを一生懸命やっているのに、もっと人が来るような PR の工夫が必要である。

### （4）評価及び改善提案

- ・プラネタリウムに行った際、待ち時間に資料館をのぞくといった学校が多いことから、来館を待つのではなく、学校と連携して、学芸員の出前授業を活発に行うことができれば、関心も高くなり白井市に対する愛着がもてるのではないかと考える。
- ・小学生にとって、とても魅力的な体験講座が実施されている。

(参考資料)

教育委員会の活動状況

月	教育委員会議	総合教育会議	教育委員協議会	学校訪問等	研修・視察等
H30 4	1回			入学式(各小・中学校)	印教連定期総会
5	1回			運動会(七次台小) 第三部会小学校陸上大会	千教連総会 関東甲信越静市町村教育委員会 联合会総会・研修会 教科用図書印旗採択協議会
6	1回			所長訪問(南山中、大山口小) 次長訪問(七次台中)	
7	2回	1回		所長訪問(白三小、清水口小) 次長訪問(桜台中、白二小) 指導室訪問(白一小)	教科用図書印旗採択協議会
8	1回		1回		
9	1回			体育祭(白井中、大山口中、 南山中、七次台中、桜台中)	印旗地区女性教育委員交流研 修会
10	1回			運動会(白一小、白二小、白 三小、大山口小、清水口小、 南山小、池の上小、桜台小) 指導室訪問(七次台小)	文化財審議会 青少年国際交流報告会
11	1回				教育長・教育委員研修会 印教連研修視察・意見交換会
12	1回			指導室訪問(池の上小)	立春式(大山口中、南山中、 七次台中、桜台中) 市民文化祭授賞式
H31 1	1回				成人式 立春式(白井中) 教育長・教育委員研修会 市町村教育委員研究協議会
2	1回				新・給食センター内覧会
3	2回			卒業式(各小・中学校)	

## 教育委員会議における審議

会 議	議 題	傍聴数
平成 30 年 第 4 回定例会 4 月 3 日	議案第 1 号 平成 30 年度教科用図書印権採択地区協議会委員の選出について 議案第 2 号 白井市文化財審議会委員の委嘱について 議案第 3 号 白井市プラネタリウム館自主事業観覧料の一部改定について 議案第 4 号 「平成 30 年度全国学力・学習状況調査」結果公表の取扱いについて 報告第 1 号 白井市教育相談員の委嘱について 報告第 2 号 白井市適応指導教室指導員の委嘱について 報告第 3 号 白井市学校支援アドバイザーの委嘱について 報告第 4 号 白井市学校医の委嘱について 報告第 5 号 準要保護児童・生徒の認定に係る報告について	1
第 5 回定例会 5 月 1 日	議案第 1 号 白井市文化財審議会委員の委嘱について 議案第 2 号 白井市いじめ防止基本方針の改定について 議案第 3 号 白井市民プールにおける開設期間、利用時間及び利用料金の変更について 議案第 4 号 準要保護児童・生徒の認定に係る審査について 報告第 1 号 白井市教育支援委員会委員の委嘱について 報告第 2 号 白井市学校評議員の委嘱について 報告第 3 号 白井市学校給食共同調理場運営委員会委員の委嘱について 報告第 4 号 白井市特別支援教育巡回指導員の委嘱について 報告第 5 号 白井市文化会館運営協議会委員の委嘱について 報告第 6 号 白井市立図書館協議会委員の委嘱について 報告第 7 号 専決処分について 報告第 8 号 平成 30 年度地域人材活用事業学校別計画事業及び予算配当について 報告第 9 号 新たな学校給食共同調理場の愛称の募集について 報告第 10 号 準要保護児童・生徒の認定に係る報告について	3
第 6 回定例会 6 月 5 日	報告第 1 号 白井市プラネタリウム館運営協議会委員の委嘱について 報告第 2 号 学校給食共同調理場建替事業について 報告第 3 号 準要保護児童・生徒の認定に係る報告について	1
第 7 回定例会 7 月 3 日	議案第 1 号 白井市特別支援教育就学奨励費支給規則の一部を改正する規則の制定について 議案第 2 号 新たな白井市学校給食共同調理場の愛称について 報告第 1 号 白井市郷土資料館運営協議会委員の委嘱について 報告第 2 号 平成 30 年度白井市教育委員会事務事業点検・評価委員の選任について 報告第 3 号 準要保護児童・生徒の認定に係る報告について	2
第 2 回臨時会 7 月 24 日	議案第 1 号 白井市附属機関条例の一部を改正する条例の制定について 議案第 2 号 白井市学校給食共同調理場設置条例の一部を改正する条例の制定について 議案第 3 号 平成 31 年度使用教科用図書の採択について	6
第 8 回定例会 8 月 7 日	議案第 1 号 平成 30 年度教育費補正予算（第 2 回）に係る意見聴取について 報告第 1 号 白井市生涯学習推進委員会委員の委嘱について 報告第 2 号 白井市社会教育指導員の委嘱について 報告第 3 号 準要保護児童・生徒の認定に係る報告について	4
第 9 回定例会 9 月 4 日	報告第 1 号 白井市子ども・若者育成支援協議会委員の委嘱について 報告第 2 号 白井市スポーツ推進委員会委員の委嘱について 報告第 3 号 平成 30 年度教育費補正予算（第 2 回）について 報告第 4 号 準要保護児童・生徒の認定に係る報告について 報告第 5 号 代理処分について	3

第10回定例会 10月2日	議案第1号 白井市放課後子どもプラン推進委員の委嘱について 議案第2号 利用料金の減免制度の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例の制定について 議案第3号 白井市学校給食共同調理場管理規則の一部を改正する規則の制定について 議案第4号 全国学力・学習状況調査結果の公表について 協議第1号 白井市立図書館の開館時間、貸出数及び貸出期間の試行について 報告第1号 平成31年度白井市予算編成方針について 報告第2号 準要保護児童・生徒の認定に係る報告について	3
第11回定例会 11月6日	議案第1号 白井市西白井公民館の指定管理者の指定議案に係る意見聴取について 議案第2号 白井市桜台公民館の指定管理者の指定議案に係る意見聴取について 議案第3号 白井市運動公園の指定管理者の指定議案に係る意見聴取について 議案第4号 白井市学校給食共同調理場事業特別会計設置条例の廃止について 議案第5号 平成30年度教育費補正予算（第3回）に係る意見聴取について 協議第1号 新学校給食センターから桜台小中学校への学校給食提供に関する検討方針について 報告第1号 準要保護児童・生徒の認定に係る報告について	1
第12回定例会 12月6日	議案第1号 平成30年度末白井市学校職員の人事異動について 議案第2号 消費税等の税率の引上げに伴う関係条例の整理に関する条例の制定議案に係る意見聴取について 議案第3号 教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況に係る点検及び評価に関する報告書について 報告第1号 平成30年度教育費補正予算（第3回）について 報告第2号 準要保護児童・生徒の認定について	5
平成31年 第1回定例会 1月8日	議案第1号 白井市教育委員会の附属機関の委員の任期の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例の制定について 議案第2号 白井市教育委員会附属機関規則の一部を改正する規則の制定について 議案第3号 白井市教育委員会行政組織規則の一部を改正する規則の制定について 議案第4号 白井市教育委員会処務規程の一部を改正する訓令の制定について 議案第5号 白井市教育委員会公印規則の一部を改正する規則の制定について 議案第6号 白井市社会教育関係団体の認定に関する規程の制定について 議案第7号 白井市小中学校部活動ガイドラインの改訂について 議案第8号 準要保護児童・生徒の認定に係る審査について 報告第1号 準要保護児童・生徒の認定に係る報告について	4
第2回定例会 2月5日	議案第1号 平成30年度教育費補正予算（第4回）に係る意見聴取について 議案第2号 平成31年度教育費当初予算に係る意見聴取について 議案第3号 契約の変更について 議案第4号 白井市教育大綱及び教育振興基本計画の策定方針について 議案第5号 白井市教育委員会定例会及び臨時会の会議資料の傍聴者への配布について 議案第6号 白井市優良児童・生徒表彰の推薦について 協議第1号 白井市立学校空調設備運用指針について 報告第1号 白井市教育支援委員会の結果及び就学について 報告第2号 準要保護児童・生徒の認定に係る報告について	3

<p>第3回定例会 3月5日</p>	<p>議案第1号 白井市スポーツ推進委員の委嘱について          議案第2号 白井市特別支援教育就学奨励費支給規則の一部を改正する規則の制定について          議案第3号 白井市就学援助費支給規則の一部を改正する規則の制定について          議案第4号 白井市文化団体協議会の主催事業に係る文化会館の予約及び施設使用料の取扱いについて          議案第5号 白井市優良児童・生徒表彰の推薦について          報告第1号 白井市学校給食共同調理場運営委員会委員の委嘱について          報告第2号 準要保護児童・生徒の認定に係る報告について          報告第3号 代理処分について</p>	<p>4</p>
<p>第1回臨時会 3月19日</p>	<p>議案第1号 白井市プラネタリウム館自主事業観覧料の一部改定について          議案第2号 白井市指定文化財の指定について          議案第3号 平成30年度教育費補正予算（第5回）に係る意見聴取について          議案第4号 平成31年度教育費補正予算（第1回）に係る意見聴取について          報告第1号 平成30年度末及び平成31年度白井市小中学校職員人事異動について</p>	<p>1</p>

(参考資料)

平成 30 年度事業 教育委員会点検及び評価資料  
(事務事業評価シート 重点戦略事業・分野別事業)

平成31年度事務事業評価シート（分野別事業・一般事務事業用）

1 基本情報

事業名	教育の情報化推進事業		コード	B - 1 - 0 - 7
位置づけ	B 学習・教育	1 学校教育		
事業期間	平成14年度～令和2年度	担当	教育部	課等長 小泉 淳一
予算科目	会計一般 9 項 1 目 4 事業	教育の情報化推進事業		
根拠法令	事業区分 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 補助事業			

2 事業概要 (Plan)

情報化が急速に進む社会において、子ども達の情報活用能力を高めることが求められている。文科科学者が作成する全国の小中学校で共通に指導する教育内容を示した学習指導要領において、情報に関する学習活動を充実することになっている。

目的	対象(誰・何を)	意図(どういう状態にしたいか)
手段	小中学生及び教員	小中学生がパソコンの基本的な操作を身に付け、各教科等の学習活動でパソコンを活用できる環境を整える。教員がパソコンを活用し、授業のための情報収集や資料作成・掲示ができる環境を整える。学校における情報発信や学校事務の軽減を図る。
	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金等 <input checked="" type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他	安全な情報技術通信 (ICT) 環境の提供、各学校内及び各教科等のネットワーク環境の提供、教職員がパソコン1台を使用できる環境の提供、各学校1教室のパソコン教室の提供、ファイルサーバー等の外部記憶装置の提供、ITコーディネーターの派遣による情報教育支援の提供

3 取組状況 (Do①)

H30年度取組状況	教育ネットワークの維持・教職員一人一台のパソコンの維持・各学校1教室のパソコン教室の維持・校務支援システムの維持・ファイルサーバー等の外部記憶装置の維持・校務用シンククライアントシステムの維持・資産管理システムの維持・ICT支援員
改善策取組状況	前年度以前評価での改善項目 改善状況(前年度評価に基づかない改善事項等も含む) 機器・ネットワークなどの管理を、市の小学校のパソコン教室に設置されているパソコンE (インターネットワークエクスプローラー) のバージョンが古く、サイトによっては、閲覧できない状態となっていたため、児童の調べ学習に支障が生じていることからバージョンアップを行った。

4 コスト (Do②)

区分	H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	H31年度予算	R2年度予算
事業費計	A 82,789	80,615	87,232	52,991	53,838	52,397
財源	国県支出金	0	0	0	0	0
内訳	受益者負担	0	0	0	0	0
内訳	地方債	0	0	0	0	0
内訳	その他	0	0	0	0	0
内訳	一般財源	82,789	80,615	87,232	52,991	52,397
人件費計	C 9,647	9,812	9,784	9,477	9,501	9,496
内訳	人数	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
内訳	人件費	7,942	8,110	8,110	8,110	8,110
内訳	臨時	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
内訳	職員	1,705	1,702	1,674	1,367	1,391
内訳	総コストD=A+C	92,436	90,427	97,016	62,468	61,893
市民1人コストD/A (円)	1,463.17	1,426.20	1,530.12			
受益者負担率B/D (%)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

事業コード No.

5 指標の推移 (Check①)

指標名	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R2年度	指標の説明
教員用パソコン1台の使用環境	人以内	目標	5	5	5	5	年度内にパソコンが割り当てられない教諭の人数
		実績	0	0	0	0	
		達成率	0.0	0.0	0.0	0.0	
指標1単位当たりコスト(千円)		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	12.3786	コスト効率 #DIV/0!
種類		目標					コスト効率
		実績					
		達成率					

6 事業の評価 (Check②)

項目	評価	評価の理由・課題
必要性	<input type="checkbox"/> 市が関与する必要性は薄れていないか <input type="checkbox"/> 事業を実施しないと市民や地域社会に不利益が生じるか <input type="checkbox"/> 対象者の減少など事業の実施意義は薄れていないか <input type="checkbox"/> 対象や意図を限定又は拡充する必要はないか	<input type="checkbox"/> 本事業は、市内小中学校で使用するネットワーク、サーバー、パソコン、システム、プリンタ等の整備を行うものであり、市において整備を行う必要がある。
有効性	<input type="checkbox"/> 指標目標を達成したか、意図の実現に近づいているか <input type="checkbox"/> 手段は適切か、サービス水準は適切か <input type="checkbox"/> 国・県・民間に類似の事業・サービスはないか <input type="checkbox"/> 他事業との連携・統合の余地はないか	<input type="checkbox"/> 本事業は、市の学校内のパソコン等の利用環境の整備において意図の実現には近づけており、水準についても各校にパソコン教室の整備、教員一人一台の校務用パソコンの配付などにより備わっているため、一定の水準を得ていると考えられる。
効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス(進め方・手続き)に工夫の余地はないか <input type="checkbox"/> 民間委託や市民団体等との協働の余地はないか <input type="checkbox"/> 受益者負担について見直す余地はないか <input type="checkbox"/> 実施体制(事務分担など)に工夫の余地はないか	<input type="checkbox"/> 実施体制について、現在は整備面の体制が主であるが、今後も機器を活用した授業づくりができるようにしていく必要がある。
市民・対象者ニーズの状況・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 増加傾向 <input type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 減少傾向	29年度の小学校から完全実施する新学習指導要領には、「情報活用能力」が言語能力・読解能力・解決能力等と同様に「学習の基礎となる資質・能力」として位置づけられ、小学校においては将来のIT活用に対応するプログラミング的思考を旨とした「プログラミング教育」が必須化され、学校教育のICT活用は、さらに重要性が増している。

7 今後の方向性 (Action)

改善して継続	現状のまま継続	休廃止	終了(年度)
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	(年度)
目的(対象・意図)の再設定			(実施時期) R 年 月
手段・サービス水準の見直し			(実施時期) R 年 月
他事業との連携・統合			(実施時期) R 年 月
業務プロセスの改善			(実施時期) R 年 月
民間委託を導入・拡大			(実施時期) R 年 月
市民等との協働を導入・拡大			(実施時期) R 年 月
受益者負担の見直し			(実施時期) R 年 月
臨時・再任用職員の活用			(実施時期) R 年 月
その他	<input checked="" type="checkbox"/>		(実施時期) R 2 年 月
改善内容	ICT機器等をより効果的に活用できるように、タブレットの導入やLAN整備などの検討を行い、段階的にICTの環境を整備していく。		
改善により期待される効果	ICT環境の整備により、新しいスタイルでの授業が展開されることで、教育の質を高め子どもたちの学力を伸ばすとともに、教職員の事務負担の軽減が図られる。		

平成31年度事務事業評価シート（分野別事業・一般事務事業用）

1 基本情報

事業名	特別支援教育事業		コード	B - 1 - 0 - 8
位置づけ	B 学習・教育	1 学校教育		
事業期間	平成11年度～	令和2年度	担当	教育部 課等長 鈴木 直人
予算科目	会計 一般 款 9 項 1 目 3 事業	特別支援教育事業	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 補助事業
根拠法令				

2 事業概要 (Plan)

障がいのある児童の適切な就学先を選択するため、就学相談や教育支援委員会において保護者に十分な情報を提供する。また、個別支援学校においては、本務教員だけでは十分な対応ができないような場合には介助員を雇用している。

目的	障がいのある児童・生徒及びその保護者に適切な就学先を選択してもらうこと、また、個別支援学校における学校生活を安定した気持ちで送り、将来の自立に向けた力を身につける。
手段	<p>対象（誰・何を） 意図（どういう状態にしたいか）</p> <p>保護者に適切な就学先を選択してもらうこと、また、個別支援学校における学校生活を安定した気持ちで送り、将来の自立に向けた力を身につける。</p> <p> <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他  <small>就学相談窓口で指導主事が対応し、必要に応じて学校見学を実施する。その後、保護者の要望と児童の学習的資料を踏まえ教育支援委員会において総合的な判断をする。 巡回指導員が専門的な視点で児童生徒の発達や学習内容等の配慮について本務教員に対して助言する。 個別支援学校に介助員を配置し、児童生徒の学校生活上の安全確保と個別指導を充実させる。</small> </p>

3 取組状況 (Do①)

H30年度取組状況	障がいのある児童・生徒がより良い就学先を選択できるよう、教育支援委員会や就学相談等で情報提供を行った。本務教員に助言した。個別支援学校に介助員を委託し、各校の取組に即して派遣し、専門的な視点による児童生徒の発達や学習内容等の配慮について本務教員に対して助言する。特別支援教育に関する研修を行い、理解啓発を行った。
改善策取組状況	前年度以前評価での改善項目 改善状況（前年度評価に基づかない改善事項等も含む） 手段・サービス水準の見直し 個別支援学校指導員及び巡回指導員等の人的配置の充実および適正化を図る。また、支援及び指導内容の質の向上のため、研修等の充実を図る。

4 コスト (Do②)

区分	H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	H31年度決算	R2年度予算
事業費計	A 31,272	31,324	33,106	31,544	33,869	
財源						
内訳						
国県支出金						
受益者負担						
地方債						
その他						
一般財源	31,272	31,324	33,106	31,544	33,869	0
人件費計	C 28,701	30,678	32,116	30,977	33,244	0
内訳						
正職員	0.20	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40
人件費	1,588	3,244	3,244	3,244	3,244	3,244
臨時職員	21.00	21.00	21.00	23.00	23.00	23.00
職員	27.113	27.434	28.872	27.733	30.000	30.000
総コストD=A+C	59,973	62,002	65,222	62,521	67,113	0
市民1人コストD/A0 (円)	949.32	977.89	1,028.67			
受益者負担率B/D (%)						

No. 事業コード

5 指標の推移 (Check①)

指標名	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R2年度	指標の説明
個別支援学校級介助員の配置数	人	目標	21	21	23	23	個別支援学校における指導支援を充実するために必要な人員を配置する。
		実績	21	21	23	23	
種別活動指標 指標の方向		達成率	100.0	100.0	100.0	100.0	コスト効率 向上
指標1単位当たりコスト (千円)			2,855.9	2,952.5	2,835.7		
種別		目標					コスト効率
		実績					
指標1単位当たりコスト (千円)		達成率					

6 事業の評価 (Check②)

項目	評価	評価の理由・課題
必要性	<p>市が関与する必要性は薄れていないか <input type="checkbox"/></p> <p>事業を実施しないと市民や地域社会に不利益が生じるか <input type="checkbox"/></p> <p>対象者の減少など事業の実施意義は薄れていないか <input type="checkbox"/></p> <p>対象や意図を限定又は拡充する必要はないか <input type="checkbox"/></p>	<p>文部科学省の財政措置や県の予算措置ではないため、市が負担して実施することが現状では妥当なため。</p>
有効性	<p>指標目標を達成したか、意図の実現に近づいているか <input type="checkbox"/></p> <p>手段は適切か、サービス水準は適切か <input type="checkbox"/></p> <p>国・県・民間に類似の事業・サービスはないか <input type="checkbox"/></p> <p>他事業との連携・統合の余地はないか <input type="checkbox"/></p>	<p>学校におけるインクルーシブシステム構築推進のためには、基礎的な学校環境整備として、介助員等の配置が不可欠であるため。</p>
効率性	<p>業務プロセス（進め方・手続き）に工夫の余地はないか <input type="checkbox"/></p> <p>民間委託や市民団体等との協働の余地はないか <input type="checkbox"/></p> <p>受益者負担について見直す余地はないか <input type="checkbox"/></p> <p>実施体制（事務分担など）に工夫の余地はないか <input type="checkbox"/></p>	<p>事業費は主に介助員の人員費であり、介助員の配置により、特別な支援を必要とする児童生徒の個々の状況に応じた指導・支援の充実につなげることができている。</p>
市民・対象者ニーズの状況・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 増加傾向 <input type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 減少傾向 個別支援学校級の在籍児童数・生徒は増加傾向にあり、通常の学校に在籍している児童生徒においても特別支援教育の対象者が増えているため。	

7 今後の方向性 (Action)

改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休廃止 <input type="checkbox"/>	終了 (年度)	
	(年度)	(年度)
目的 (対象・意図)の再設定	R	年
手段・サービス水準の見直し	R	年
他事業との連携・統合	R	年
業務プロセスの改善	R	年
民間委託を導入・拡大	R	年
市民等との協働を導入・拡大	R	年
受益者負担の見直し	R	年
随時・再任用職員の活用	R	年
その他	R	年

事業の方向性

改善内容

改善により期待される効果

平成31年度事務事業評価シート（分野別事業・一般事務事業用）

1 基本情報

事業名	学校給食共同調理場建替事業		コード	B - 1 - 1 - 10
位置づけ	B 学習・教育	1 学校教育		
事業期間	平成23年度～平成31年度	担当	教育部	課等長 板橋 章
予算科目	会計 一般 款 9 項 5 目 3 事業	学校給食共同調理場建替事業		
根拠法令	事業区分 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> 補助事業			

2 事業概要 (Plan)

現在の学校給食共同調理場は、施設等の老朽化とともに一部学校給食衛生管理基準を満たしていないことから、新たに学校給食共同調理場を整備する必要がある。

目的	白井市内12校の児童・生徒及び教職員の安全で安心な学校給食を継続的に提供し、児童・生徒の健全な育成に資するとともに食育等の推進を図る。
対象(誰・何を)	意図(どういった状態にしたいか)
手段	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他 民間の資金とノウハウを活用できるPFI方式により、施設の整備と約15年間の調理や施設管理、配送・配膳などを一括で委託する。

3 取組状況 (Do①)

H30年度取組状況	市が示した要求水準書等を反映した施設となるよう建設モニタリングを行い、質の高い給食を提供できる給食センターを整備した。整備後は、4月からの給食提供に向け開業準備を実施した。令和元年9月からのアレルギ-対応食提供に向け、提供方法を定めた「学校給食における食物アレルギー-対応の手引き」を策定した。(H31年度は運営・維持管理が主となるため給食センターへ引継ぎ)
改善策取組状況	前年度以前評価での改善項目 改善状況(前年度評価に基づかない改善事項も含む)

4 コスト (Do②)

区分	H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	H31年度予算	R2年度予算
事業費計	A 494,446	25,424	7,308	1,988,875		
財源				297,228		
内訳				1,681,200		
内訳			30	503		
一般財源	23,846	25,394	7,278	9,944	0	0
人件費計	C 4,765	21,897	12,976	12,165	0	0
内訳				1,50		
正職員	0.60	2.70	1.60	1.50		
臨時職員	4.765	21,897	12,976	12,165	0	0
総コストD=A+C	499,211	47,321	20,284	2,001,040	0	0
市民1人コストD/A(円)	7,902.04	746.34	319.92			
受益者負担率B/D(%)						

No. 事業コード

5 指標の推移 (Check①)

指標名	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	指標の説明
① 指標設定に馴染まないことから設定しない。	回	目標					
種類 活動指標 指標の方向		実績					
達成率							
指標1単位当たりコスト(千円)							コスト効率
②		目標					
種類 指標の方向		実績					
達成率							
指標1単位当たりコスト(千円)							コスト効率

6 事業の評価 (Check②)

項目	評価	評価の理由・課題
必要性	<input type="radio"/> 市が関与する必要性は薄れていないか <input type="radio"/> 事業を実施しないと市民や地域社会に不利益が生じるか <input type="radio"/> 対象者の減少など事業の実施意義は薄れていないか <input type="radio"/> 対象や意図を限定又は拡充する必要はないか	<input type="radio"/> 学校給食は市が責任を持って実施するもので、必要性は高いものと判断している。
有効性	<input type="radio"/> 指標目標を達成したか、意図の実現に近づいているか <input type="radio"/> 手段は適切か、サービス水準は適切か <input type="radio"/> 国・県・民間に類似の事業・サービスはないか <input type="radio"/> 他事業との連携・統合の余地はないか	<input type="radio"/> 安全で安心な給食を提供するための施設整備を行い、意図を実現することができたと判断している。 <input type="radio"/> ※桜花小中学校の給食の見直しの余地あり
効率性	<input type="radio"/> 業務プロセス(進め方・手続き)に工夫の余地はないか <input type="radio"/> 民間委託や市民団体等との協働の余地はないか <input type="radio"/> 受益者負担について見直す余地はないか <input type="radio"/> 実施体制(事務分担など)に工夫の余地はないか	<input type="radio"/> 民間の資金とノウハウを活用したPFI手法で実施することにより、事業を効率的に実施している。
市民・対象者ニーズの状況・内容	<input type="checkbox"/> 増加傾向 <input checked="" type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 減少傾向	

7 今後の方向性 (Action)

改善して継続	現状のまま継続	休廃止	終了(年度)
<input type="checkbox"/> 目的(対象・意図)の再設定 <input type="checkbox"/> 手段・サービス水準の見直し <input type="checkbox"/> 他事業との連携・統合 <input type="checkbox"/> 業務プロセスの改善 <input type="checkbox"/> 民間委託を導入・拡大 <input type="checkbox"/> 市民等との協働を導入・拡大 <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し <input type="checkbox"/> 臨時・再任用職員の活用 <input type="checkbox"/> その他			(実施時期) R 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 (実施時期) R 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 (実施時期) R 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 (実施時期) R 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 (実施時期) R 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 (実施時期) R 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年
事業の方向性			
改善内容			
改善により期待される効果			

平成31年度事務事業評価シート（分野別事業・一般事務事業用）

1 基本情報

事業名	立春式事業		コード	B - 2 - 0 - 2	
位置づけ	B 学習・教育	2 生涯学習			
事業期間	昭和39年度～	令和2年度	担当	教育部	生涯学習課
予算科目	会計一般	9 項	4 目	1 事業	立春式事業
根拠法令	事業区分 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 補助事業				

2 事業概要 (Plan)

事業実施の背景	「自覚」「立志」「健康」を目標に社会の一員としての自覚や将来に対する夢を育むため。				
目的	対象（誰・何を）	意図（どういう状態にしたいか）			
手段	市内中学2年生	職業体験や記念式典等を通して、社会の一員としての自覚や将来に対する夢を育む。			
	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金等 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他	各中学校長及び担当で構成する白井市立春式実行委員会に交付金を交付する。			

3 取組状況 (Do①)

H30年度取組状況	市内中学2年生を対象に、職業体験や式典等を全市内中学校において実施				
改善策取組状況	前年度以前評価での改善項目 改善状況（前年度評価に基づかない改善事項等も含む）				

4 コスト (Do②)

区分	H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	H31年度決算	R2年度予算
事業費計	A	721	734	694	775	796
国県支出金						796
財源	B					
内						
訳						
一般財源	C	721	734	694	775	796
人件費計		4,765	4,06	4,06	4,06	4,06
内		0.60	0.05	0.05	0.05	0.05
訳		4,765	4,06	4,06	4,06	4,06
正職員						
臨時職員						
総コストD=A+C		5,486	1,140	1,100	1,181	1,202
市民1人コストD/A0 (円)		86.84	17.97	17.34		
受益者負担率B/D (%)						

No. 事業コード

5 指標の推移 (Check①)

指標名	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R2年度	指標の説明
交付金の交付額	円	目標	744	743	776	796	5中学校への補助金の支出
		実績	734	694	775		
種別 成果指標 指標の方向		達成率	98.7	93.4	99.9		コスト効率 向上
指標1単位当たりコスト(千円)		目標	7.5	1.6	1.4	1.5	
体験事業及び式典開催回数	回	実績	10	10	10	10	5中学校の体験事業及び式典回数の合計
種別 成果指標 指標の方向		達成率	17	16	13		
指標1単位当たりコスト(千円)			170.0	160.0	130.0		コスト効率 低下
			322.7	71.2	84.6	120.2	

6 事業の評価 (Check②)

項目	評価	評価の理由・課題
必要性	○	市が関与する必要性は薄れていないか 事業を実施しないと市民や地域社会に不利益が生じるか 対象者の減少など事業の実施意義は薄れていないか 対象や意図を限定又は拡充する必要はないか
有効性	○	指標目標を達成したか、意図の実現に近づいているか 手段は適切か、サービス水準は適切か 国・県・民間に類似の事業・サービスはないか 他事業との連携・統合の余地はないか
効率性	○	業務プロセス（進め方・手続き）に工夫の余地はないか 民間委託や市民団体等との協働の余地はないか 受益者負担について見直す余地はないか 実施体制（事務分担など）に工夫の余地はないか
市民・対象者ニーズの状況・内容	○	市民・対象者ニーズの増加傾向 <input type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 減少傾向 <input type="checkbox"/> キャリア教育の拡大により、青少年が社会の一員となる事に対する自覚を持つ機会へのニーズが増してきている。

7 今後の方向性 (Action)

改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/>	現状のまま継続 <input type="checkbox"/>	休廃止 <input type="checkbox"/>	終了 (年度)
目的 (対象・意図) の再設定			R 年 月
手段・サービス水準の見直し			R 年 月
他事業との連携・統合			R 3 年 4 月
業務プロセスの改善			R 年 月
民間委託を導入・拡大			R 年 月
市民等との協働を導入・拡大			R 年 月
受益者負担の見直し			R 年 月
臨時・再任用職員の活用			R 年 月
その他			R 年 月
改善内容	現在補助金で立春式事業を実施しているが、補助金の支出のあり方について検討し、現状にあった方法で事業の改善を行う。		
改善により期待される効果	現状にあった方法に見直すことにより、補助金交付の際に行われていた事務作業量の軽減、各学		

No.

平成31年度事務事業評価シート（分野別事業・一般事務事業用）

1 基本情報

事業名	文化財調査事業		コード	B - 3 - 0 - 2	
位置づけ	B 学習・教育	3 文化・芸術			
事業期間	平成13年度～	令和2年度	担当	教育部	生涯学習課
予算科目	会計 一般 款 9 項 4 目 1 事業	文化財調査事業	課等長	石戸 啓夫	
根拠法令			事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業	<input type="checkbox"/> 補助事業

2 事業概要 (Plan)

事業実施の背景 市内に所在する各種文化財でも概要を把握しているものがないため、総合ハンドブック「文化財ガイド」作成を計画した。それにより、平成13年度より市内に所在する各種文化財の調査する「白井市文化財基礎調査」を開始した。

目的	対象（誰・何を） 市内に所在する各種文化財（有形文化財・無形文化財・有形民俗文化財・無形民俗文化財、史跡名勝天然記念物、指定・未指定を問わず） 白井市の歴史を物語るような重要な文化財を見出し、「白井らしさ」を高める。	意図（どういう状態にしたいか）
手段	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他 各対象物件毎に2～3か年で調査を行う。原則として1・2年目に所在・内容確認を行い、3年目に重要物件を詳細調査、実施する。	

3 取組状況 (Do①)

H30年度取組状況	古文書調査を実施し報告書を2冊刊行したほか、民俗調査を開始した。また、調査成果の一部をまとめた「歴史のしずく」の増刷を行った。
改善策取組状況	前年度以前評価での改善項目 改善状況（前年度評価に基づかない改善事項等も含む） 懸案だった民俗調査を開始した。

4 コスト (Do②)

区分	H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	H31年度決算	R2年度予算
事業費計	A 1,990	1,663	1,197	2,094	1,390	1,321
財源	国県支出金					
内訳	受益者負担					
内訳	地方債					
内訳	その他					
人件費計	一般財源	1,990	1,663	1,197	2,094	1,390
内訳	正職員	2,383	1,622	1,460	2,433	1,622
内訳	臨時職員	0.30	0.20	0.18	0.30	0.20
内訳	総コストD=A+C	4,373	3,285	2,657	4,527	3,012
市民1人コストD/A0 (円)	69.21	51.81	41.90			
受益者負担率B/D (%)						

事業コード

5 指標の推移 (Check①)

指標名	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R2年度	指標の説明
調査件数	件	目標	3	3	3	3	調査項目数 (調査内容は年度毎に変化)
		実績	2	3	2		
① 種別 活動指標 指標の方向		達成率	66.7	100.0	66.7		
指標1単位当たりコスト(千円)			2,186.3	1,095.0	1,328.4	981.0	コスト効率 低下
② 種別		目標					
		実績					
指標1単位当たりコスト(千円)		達成率					コスト効率

6 事業の評価 (Check②)

項目	評価	評価の理由・課題
必要性	<input type="checkbox"/> 市が関与する必要性は薄れていないか <input type="checkbox"/> 事業を実施しないと市民や地域社会に不利益が生じるか <input type="checkbox"/> 対象者の減少など事業の実施意義は薄れていないか <input type="checkbox"/> 対象や意図を限定又は拡充する必要はないか	<input type="checkbox"/> 市の文化財保護行政上、市内にどのような文化財が存在するか調査することは必要な事業である。
有効性	<input type="checkbox"/> 指標目標を達成したか、意図の実現に近づいているか <input type="checkbox"/> 手段は適切か、サービス水準は適切か <input type="checkbox"/> 国・県・民間に類似の事業・サービスはないか <input type="checkbox"/> 他事業との連携・統合の余地はないか	<input type="checkbox"/> 文化財ガイド作成に向けて各分野の調査を着実に推進している。市内の文化財への調査は国・県・民間で行っておらず、市で本事業を行うことは有効と評価した。
効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス（進め方・手続き）に工夫の余地はないか <input type="checkbox"/> 民間委託や市民団体等との協働の余地はないか <input type="checkbox"/> 受益者負担について見直す余地はないか <input type="checkbox"/> 実施体制（事務分担など）に工夫の余地はないか	<input type="checkbox"/> 事業は必要に応じて外部有識者に依頼しており、効率的に調査が実施できている。
市民・対象者ニーズの状況・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 増加傾向 <input type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 減少傾向	市民・対象者のニーズの状況・内容

7 今後の方向性 (Action)

改善して継続	現状のまま継続	休廃止	終了	(年度)
<input type="checkbox"/> 目的（対象・意図）の再設定 <input type="checkbox"/> 手段・サービス水準の見直し <input type="checkbox"/> 他事業との連携・統合 <input type="checkbox"/> 業務プロセスの改善 <input type="checkbox"/> 民間委託を導入・拡大 <input type="checkbox"/> 市民等との協働を導入・拡大 <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し <input type="checkbox"/> 臨時・再任用職員の活用 <input type="checkbox"/> その他				
事業の方向性				
改善内容				
改善により期待される効果				

No.

平成31年度事務事業評価シート（分野別事業・一般事務事業用）

1 基本情報

事業名	文化財保護・周知事業		コード	B - 3 - 0 - 0 3	
位置づけ	B 学習・教育	3 文化・芸術			
事業期間	昭和40年度～	令和2年度	担当	教育部	課等長 石戸 啓夫
予算科目	会計 一般 款 9 項 4 目 1	事業 文化財保護・周知事業	事業区分	<input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 補助事業	
根拠法令					

2 事業概要 (Plan)

事業実施の背景	昭和40（1965）年に白井町文化財保護に関する条例が制定され、条例を踏まえての指定文化財の指定・保護活動を行うようになった。また、市民からの「市をもっと知りたい」という要望を受け講座や講演会を開催することとなった。
対象（誰・何を）	意図（どういう状態にしたいか） 白井市の歴史的重要である指定文化財は「白井らしさ」を象徴する要素の一つであることから、指定文化財を活かして「白井らしさ」を高める。また、文化財の良好な保存と活用を図る。
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内に所在する各種文化財</li> <li>市内の国、県、指定文化財所有者、管理者</li> <li>市民</li> </ul>
手段	<ul style="list-style-type: none"> <li>直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金等 <input checked="" type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/></li> <li>市内各種文化財の指定による保護・周知・活用・説明看板・標柱の設置</li> <li>指定文化財の管理・修理についての補助金の交付、維持管理方法についての協議</li> <li>各種講座の実施、文化財講演会の開催</li> </ul>

3 取組状況 (Do①)

H30年度取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>散策マップ案内看板の設置</li> <li>講演会等の開催</li> <li>指定文化財所有者へ保存・管理・修理・公開に対して補助金を交付</li> </ul>
改善策取組状況	前年度以前評価での改善項目 改善状況（前年度評価に基づかない改善事項等も含む）

4 コスト (Do②)

区分	H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	H31年度決算	R2年度予算
事業費計	A 1,534	2,263	2,068	1,727	2,450	2,171
財源	国県支出金					
内訳	受益者負担					
内訳	地方債					
内訳	その他					
人件費計	C 1,534	2,263	2,068	1,727	2,450	2,171
内訳	正職員	2,383	2,433	2,433	2,433	2,433
内訳	臨時職員	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
総コストD=A+C	3,917	4,696	4,501	4,160	4,883	4,604
市民1人コストD/A0 (円)	62.00	74.06	70.99			
受益者負担率B/D (%)						

No.

事業コード

5 指標の推移 (Check①)

指標名	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R2年度	指標の説明
① 講座・講演の回数	回	目標	27	27	27	27	1年あたりの開催回数 (目標値=近年の平均値)
		実績	27	25	30		
		達成率	100.0	92.6	111.1		
② 講座参加者数	人	目標	60	70	80	80	参加者数（文化財講演会分）
		実績	98	117	112		
		達成率	163.3	167.1	140.0		
指標1単位当たりコスト(千円)			145.1	187.8	150.0	170.5	コスト効率 向上
指標1単位当たりコスト(千円)			40.0	40.1	40.2	57.6	コスト効率 低下

6 事業の評価 (Check②)

項目	評価	評価の理由・課題
必要性	市が関与する必要性は薄れていないか 事業を実施しないと市民や地域社会に不利益が生じるか 対象者の減少など事業の実施意義は薄れていないか 対象や意図を限定又は拡充する必要はないか	文化財を指定文化財化することで市として保護と活用を図ることによって、市の歴史を裏づけ、市の独自性や魅力をとることから必要な事業である。
有効性	指標目標を達成したか、意図の実現に近づいているか 手段は適切か、サービス水準は適切か 国・県・民間に類似の事業・サービスはないか 他事業との連携・統合の余地はないか	文化財のような歴史的遺産は個人所有であっても公有的な地域財産の側面があり、市内の文化財を保護するのは市で行うのが最も適切かつ有効なものである。
効率性	業務プロセス（進め方・手続き）に工夫の余地はないか 民間委託や市民団体等との協働の余地はないか 受益者負担について見直す余地はないか 実施体制（事務分担など）に工夫の余地はないか	文化財の保護・日常管理は文化財所有者との協働によるもので、必要に応じて市から補助をすることで効率的に進めている。
市民・対象者ニーズの状況・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 増加傾向 <input type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 減少傾向	

7 今後の方向性 (Action)

改善して継続	現状のまま継続	休廃止	終了	(年度)
<input type="checkbox"/> 目的 (対象・意図) の再設定 <input type="checkbox"/> 手段・サービス水準の見直し <input type="checkbox"/> 他事業との連携・統合 <input type="checkbox"/> 業務プロセスの改善 <input type="checkbox"/> 民間委託を導入・拡大 <input type="checkbox"/> 市民等との協働を導入・拡大 <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し <input type="checkbox"/> 臨時・再任用職員の活用 <input type="checkbox"/> その他				(年度)
事業の方向性				(年度)
改善内容				(年度)
改善により期待される効果				(年度)

平成31年度事務事業評価シート（分野別事業・一般事務事業用）

1 基本情報

事業名	市民学芸スタッフ古文書修補活動事業		コード	B - 3 - 0 - 5	
位置づけ	B 学習・教育	3 文化・芸術			
事業期間	令和13年度～	令和2年度	担当	文化センター	課等長 石田 昌弘
予算科目	会計 一般 款 9 項 4 目 8 事業	【実】市民学芸スタッフ古文書修補活動事業	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 補助事業	
根拠法令					

2 事業概要 (Plan)

白井の歴史を伝える資料（古文書）を良好に伝えていくため、市民と協働で実施できる古文書の修補作業を平成13年から事業を開始した。

目的	古文書 市民学芸スタッフ	意図（どういう状態にしたいか） 市の歴史を伝える文化財の一つである古文書を良好な状態で後世まで守り伝えていくため、市民と協働で修補作業を実施するとともに、修補技能者の育成と修補技能の継承、研修者の受入れを行う。
手段	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金等 <input checked="" type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他	古文書の修補作業の実施 市民学芸スタッフの育成 古文書修補作業に関する研修者の受入れ

3 取組状況 (Do①)

H30年度取組状況	古文書の修補作業の実施 市民学芸スタッフの育成 古文書修補作業に関する研修者の受入れ(3人)
改善策取組状況	前年度以前評価での改善項目 改善状況（前年度評価に基づかない改善事項も含む）

4 コスト (Do②)

区分	H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	H31年度予算	R2年度予算
事業費計	A 335	336	201	173	134	178
財源	国県支出金	0	0	0	0	0
内訳	受益者負担	0	0	0	0	0
内訳	地方債	0	0	0	0	0
内訳	その他	0	0	0	0	0
内訳	一般財源	335	336	201	173	134
人件費計	C 3,564	3,636	3,598	3,612	3,635	3,657
内訳	正職員	0.34	0.34	0.34	0.34	0.34
内訳	人件費	2,700	2,757	2,757	2,757	2,757
内訳	臨時職員	0.84	0.84	0.84	0.84	0.84
内訳	職員	864	879	841	855	878
総コストD=A+C	3,899	3,972	3,799	3,785	3,769	3,835
市民1人コストD/A0 (円)	61.72	62.65	59.92			
受益者負担率B/D (%)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

事業コード No.

5 指標の推移 (Check①)

指標名	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R2年度	指標の説明
作業回数	回	目標	140	140	140	140	修補作業を実施した日数
		実績	150	160	143		
		達成率	107.1	114.3	102.1		
指標1 単位当たりコスト (千円)		目標	26.0	24.8	26.6	27.4	コスト効率 低下
修補古文書	枚	目標	1,040	1,040	1,040	400	古文書を修補した枚数
		実績	1,087	314	419		
		達成率	104.5	30.2	40.3		
指標1 単位当たりコスト (千円)		目標	3.6	12.7	9.1	9.6	コスト効率 向上

6 事業の評価 (Check②)

項目	評価	評価の理由・課題
必要性	市が関与する必要性は薄れていないか <input type="checkbox"/> 事業を実施しないと市民や地域社会に不利益が生じるか <input type="checkbox"/> 対象者の減少など事業の実施意義は薄れていないか <input type="checkbox"/> 対象や意図を限定又は拡充する必要はないか <input type="checkbox"/>	古文書を良好な状態で、未来に引き継いでいくことは重要であり、市と市民（市民学芸スタッフ）で共同で守っていく必要がある。 古文書の修補枚数を指標目標としているが、古文書によって変わってくる。目標枚数は達成していないが、例年通りの成果を上げている。
有効性	指標目標を達成したか、意図の実現に近づいているか <input type="checkbox"/> 手段は適切か、サービス水準は適切か <input type="checkbox"/> 国・県・民間に類似の事業・サービスはないか <input type="checkbox"/> 他事業との連携・統合の余地はないか <input type="checkbox"/>	職員とスタッフで作業の分担をしているが、その作業内容の見直しや、新規スタッフの育成の仕方についても検討中である。
効率性	業務プロセス（進め方・手続き）に工夫の余地はないか <input type="checkbox"/> 民間委託や市民団体等との協働の余地はないか <input type="checkbox"/> 受益者負担について見直す余地はないか <input type="checkbox"/> 実施体制（事務分担など）に工夫の余地はないか <input type="checkbox"/>	職員とスタッフで作業の分担をしているが、その作業内容の見直しや、新規スタッフの育成の仕方についても検討中である。
市民・対象者ニーズの状況・内容	<input type="checkbox"/> 増加傾向 <input checked="" type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 減少傾向 市民編さん事業を行うにあたり、市民編さんが必要な古文書を優先的に修補した方がいいのでは ないか等の意見がある。（生涯学習課文化班との連携）	

7 今後の方向性 (Action)

改善して継続	現状のまま継続	休廃止	終了 (年度)
<input type="checkbox"/> 目的（対象・意図）の再設定 <input type="checkbox"/> 手段・サービス水準の見直し <input type="checkbox"/> 他事業との連携・統合 <input type="checkbox"/> 業務プロセスの改善 <input type="checkbox"/> 民間委託を導入・拡大 <input type="checkbox"/> 市民等との協働を導入・拡大 <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し <input type="checkbox"/> 臨時・再任用職員の活用 <input type="checkbox"/> その他			(実施時期) R 年 月 (実施時期) R 年 月
事業の方向性			
改善内容			
改善により期待される効果			

平成31年度事務事業評価シート（分野別事業・一般事務事業用）

1 基本情報

事業名	郷土資料館展示・教育普及事業		コード	B - 3 - 0 - 0 6	
位置づけ	B 学習・教育	3 文化・芸術			
事業期間	平成6年度～令和2年度	担当	文化センター	課等長	石田 昌弘
予算科目	会計一般 9 目 8 項 4 目 8 事業	郷土資料館展示・教育普及事業			
根拠法令		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業	<input type="checkbox"/> 補助事業	

2 事業概要 (Plan)

事業実施の背景 展示は郷土資料館設置管理条例に記載された基本的な業務の一つであり、教育普及事業も展示以外における資料館事業の柱となっている。

目的	市民が市や地域へ愛着をもてるようになるため、常設展示及び企画展示、郷土の歴史・文化財に関する講座、主に子どもを対象にした体験教室、小学校授業での資料館活用（展示解説・出前授業等）を行う。
対象（誰・何を）	意図（どういう状態にしたいか）
手段	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他 常設展示と年1回の企画展示による白井市指定文化財ほか郷土資料及び白井の歴史情報の展示公開 郷土史講座・古文書講座・主に子どもを対象とした体験教室の開催

3 取組状況 (Do①)

H30年度取組状況	郷親縁の重施と企画展「くらしの中の動物～身延坂ハートナートラ〜」の実施、郷土史講座に協働したミニ展示の実施 企画展に係る講演会「鞍馬の歴史と郷馬学校について」（講師：佐藤秀一氏）の実施 牛養馬園国公立連携事業巡回展「写真でつづる牛養馬と鞍馬」図書館と共同で実施 体験教室（まか玉・あんさん、大福餅・和本づくり）の実施 古文書講座（初心・初級・中級）の実施、郷土史講座の実施、職業体験の受け入れ
改善策取組状況	前年度以前評価での改善項目 改善状況（前年度評価に基づかない改善事項も含む）

4 コスト (Do②)

区分	H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	H31年度予算	R2年度予算
事業費計	A 726	689	635	610	407	684
財源	国県支出金	0	0	0	0	0
内訳	受益者負担	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0
その他	93	164	230	98	183	128
一般財源	633	525	405	512	224	556
人件費計	C 3,177	4,160	4,158	4,158	4,163	4,159
内訳	人数	0.40	0.50	0.50	0.50	0.50
正職員	人件費	3,177	4,055	4,055	4,055	4,055
臨時職員	人数	0.00	0.10	0.10	0.10	0.10
職員	人件費	0	105	103	103	104
総コストD=A+C	3,903	4,849	4,793	4,768	4,570	4,843
市民1人コストD/A0 (円)	61.78	76.48	75.59			
受益者負担率B/D (%)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

事業コード No.

5 指標の推移 (Check①)

指標名	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R2年度	指標の説明
展示公開日数	日	目標	260	260	260	260	展示室を公開した日数
		実績	277	283	283		
種別 活動指標	指標の方向	達成率	106.5	108.8	108.8		
指標1単位当たりコスト (千円)	(千円)		14.1	17.1	16.9	18.6	コスト効率 向上
見学者の人数	人	目標	20,938	20,938	20,938	15,000	郷土資料館を利用した人の人数
		実績	23,214	13,724	15,719		
種別 成果指標	指標の方向	達成率	110.9	65.5	75.1		
指標1単位当たりコスト (千円)	(千円)		0.2	0.4	0.3	0.3	コスト効率 向上

6 事業の評価 (Check②)

項目	評価	評価の理由・課題
必要性	市が関与する必要性は薄れていないか <input type="radio"/> 事業を実施しないと市民や地域社会に不利益が生じるか <input type="radio"/> 対象者の減少など事業の実施意義は薄れていないか <input type="radio"/> 対象や意図を限定又は拡充する必要はないか <input type="radio"/>	白井市内、市外を問わず、白井の歴史を知ってもらうために白井の歴史を展示することは有効な手段である。
有効性	指標目標を達成したか、意図の実現に近づいているか <input type="radio"/> 手段は適切か、サービス水準は適切か <input type="radio"/> 国・県・民間に類似の事業・サービスはないか <input type="radio"/> 他事業との連携・統合の余地はないか <input type="radio"/>	庁舎改修や展示ギャラリーの市民利用がなくなっただけ、一時的に来館者人数が減少したが、増加傾向となっている。
効率性	業務プロセス（進め方・手続き）に工夫の余地はないか <input type="radio"/> 民間委託や市民団体等との協働の余地はないか <input type="radio"/> 受益者負担について見直す余地はないか <input type="radio"/> 実施体制（事務分担など）に工夫の余地はないか <input type="radio"/>	企画展や講座内容について、計画的に実施する必要はある。長期的な展示計画等を考えていくことが課題。
市民・対象者ニーズの状況・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 増加傾向 <input type="checkbox"/> 減少傾向 市民・対象者のニーズの状況・内容	図書館やボランティアと合同で

7 今後の方向性 (Action)

改善して継続	現状のまま継続	休廃止	終了 (年度)
<input type="checkbox"/> 目的（対象・意図）の再設定 <input type="checkbox"/> 手段・サービス水準の見直し <input type="checkbox"/> 他事業との連携・統合 <input type="checkbox"/> 業務プロセスの改善 <input type="checkbox"/> 民間委託を導入・拡大 <input type="checkbox"/> 市民等との協働を導入・拡大 <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し <input type="checkbox"/> 臨時・再任用職員の活用 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	(実施時期) R 年 月 (実施時期) R 年 月
事業の方向性			
改善内容			
改善により期待される効果			